

授業概要

乳幼児期の子どもにとって、遊びや運動の実施は発育・発達を促すために重要である。この講座ではそれらを理解し、実際に自分の身体で「運動あそび」を体験することを通して、乳幼児の発育や興味に応じた「運動」の必要性やその内容について指導する。

授業計画

第1回	オリエンテーションと身体慣らし
第2回	いろいろな伝承遊び① 集団で行う伝承遊び
第3回	いろいろな伝承遊び② チーム対抗または個人で行う伝承遊び
第4回	基本の運動① 走・跳の運動あそびの実践
第5回	基本の運動② 力試しの運動あそびの実践
第6回	基本の運動③ 器具や用具を用いる運動あそびの実践
第7回	身近なものを使った運動あそび① レジ袋を使った運動あそび
第8回	身近なものを使った運動あそび② 新聞紙を使った運動あそび
第9回	器械運動の実践① マット運動
第10回	器械運動の実践② 跳び箱
第11回	器械運動の実践③ 鉄棒
第12回	指導計画の立案と指導上の留意点および安全教育について
第13回	模擬保育①
第14回	模擬保育②
第15回	模擬保育③
第16回	まとめ

到達目標

保育現場における運動あそびの指導計画を立案し、実践するために必要な基礎知識を習得する。さらに「器械運動」の段階的指導と補助方法を理解する。

履修上の注意

- 保育士資格に関わる科目なので、出欠を厳しくチェックする。やむを得ない事情の場合は20分以内の遅刻を認めることがあるが、それ以降は欠席として取り扱う。
- 必ず運動に適した服装（ジャージなど）に着替えること。
- 髪の毛の長い者はまとめ、アクセサリーの類はすべて取るなど身だしなみを整えて授業に臨むこと。

予習復習

- 予習：シラバスの内容を確認すると同時に、自分が子どもの頃に遊んだ運動あそびを思い出しておくこと。
- 復習：毎回の授業後に、自らが指導する立場に立って指導計画を立案できるようにまとめておくこと。

評価方法

乳幼児期に必要な運動を理解し、実践および指導計画の立案に活かせるかどうか、出席状況、授業に取り組む姿勢などから総合的に評価する。

テキスト

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。